

地球の恵みを、社会の望みに。

 **エアウォーターメディカル株式会社**

ユーザーズ マニュアル Laipoc

業務用消臭除菌水生成器

形名 FW-AN08



ライポック

このたびは、Laipoc 業務用消臭除菌水生成器をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

このユーザーズマニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- お使いになる前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- このユーザーズマニュアルは、保証書とともに、いつでも見ることが出来る所で保管してください。



製品の特長

ライポック
本製品「Laipoc 業務用消臭除菌水生成器」は、消臭除菌効果のある水（次亜塩素酸を含むもの）を電気分解によって生成できます。

高塩素濃度機能水の生成が可能

- ・強めの消臭除菌効果がある水（有効塩素濃度約50mg/L以上）を生成できます。
- ・消臭除菌水の有効塩素濃度は、用途に応じて3種類から選べます。
 - ・低濃度：約25mg/L
 - ・標準：約50mg/L
 - ・高濃度：約100mg/L

毎分8リットル※の高効率生成が可能 ※低濃度設定時

- ・8Lのバケツ1杯分の水を、約1分で生成できます。

用途によって、ホースと上部パイプの吐水口切換えが可能

- ・吐水用ホースを接続すれば、かけ流しでもお使いいただけます。

ハンドセンサを使った吐水が可能

- ・ハンドセンサ内蔵のため、手をかざすだけで本製品に触れずに吐水できます。



本書での記載について

- ・本書では、本製品にて塩化物を含む水溶液を電気分解して生成される消臭除菌性のある次亜塩素酸を含んだ水を「生成水」と呼びます。
- ・単位 リットルを「L」と表記します。
- ・有効塩素濃度を「塩素濃度」または「濃度」と表記します。

もくじ

安全にお使いいただくために	P. 4
同梱品を確認する	P. 9
各部の名称	P.10
準備する	
接続部品の確認（蛇口、給水用および吐水用）	P.12
設置場所	P.13
同梱器具の取り付け	P.13
ホース、チューブの接続	P.14
全体接続図と設置後の確認	P.15
使う	
通水する（準備運転）	P.16
消臭除菌水を生成して吐水する	P.17
吐水口を切り換える	P.17
生成水の濃度を切り換える	P.17
ハンドセンサを使って吐水する	P.18
外部機器を使って吐水する	P.19
原液を交換する	P.20
電源を切り、水道の蛇口を閉じる	P.20
よくあるご質問	P.21
エラー時の対処方法	P.23
仕様	P.24
保証とアフターサービス	P.25
お手入れの方法	P.26
生成水の確認	P.26
本体・消耗品の廃棄について	P.26

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、誤った取り扱いをすることによって、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が高いものから順に、「△危険」、「△警告」、「△注意」にまとめて記載しています。

あらかじめ内容をよくご理解いただき、安全にお使いください。

正しく使用されなかった場合の故障、事故については、当社は責任を負いませんのでご了承ください。

 **危険** 死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

 **警告** 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 **注意** 軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

 してはいけないことを表しています。

 しなければならないことを表しています。

危険

全体		直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火やストーブのそばなど、高温になる場所で使用、保管、放置しない 火災・変形・故障によるけがの原因となります。
		火中に投げ入れたり、加熱したりしない 火災の原因となります。
本体（ACアダプター含む）		電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れない 火災・感電の原因となります。
		分解したり、改造したりしない 火災・感電・けがの原因となります。
		水や薬品などの液体でぬらさない 火災・感電の原因となります。
		ACアダプター・電源コードは付属品を使用する 火災・感電の原因となります。

原液		専用の原液を使用する 事故・誤動作によるけがの原因となります。
----	---	---

警告

本体 (ACアダプター含む)	⊘	<p>強い振動・落下・衝撃を与えたり、投げつけたりしない 火災・感電・けがの原因となります。</p>
		<p>破損したまま使用しない 火災・感電・けがの原因となります。</p>
		<p>外部入力部、給水口、吐水口、その他のすき間に指や金属片、鉛筆の芯など異物を入れない 火災・感電・けが・誤動作の原因となります。</p>
		<p>ぬれた手で使用しない 火災・感電の原因となります。</p>
		<p>指定範囲外の温湿度環境で使用しない 感電・塩素ガス漏えいによる体調不良の原因となります。</p>
		<p>付属のACアダプター・電源コードは本製品以外で使用しない 火災・感電・故障の原因となります。</p>
		<p>給水用ホース、吐水用ホースおよび原液吸水用チューブを踏みつけたり、折り曲げたり、ねじったりしない 火災・感電・故障・水漏れによる家財損傷の原因となります。</p>
		<p>吐水口にバルブ等の出口をふさぐ器具は設置しない 火災・感電・水漏れによる家財損傷の原因となります。</p>
		<p>吐水用パイプを強い力で操作したり、必要以上に屈曲を繰り返したりしない パイプの破損・けが、水漏れによる家財損傷の原因となります。</p>
		<p>タコ足配線をしない 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>使用中のACアダプターを布などでおおったり、包んだりしない 火災・発熱の原因となります。</p>	

本体 (ACアダプター含む)	⊘	<p>電源コードを切ったり、傷つけたり、加工したりしない 火災・感電の原因となります。</p>
		<p>電源コードの上に重いものをのせない 火災・発熱の原因となります。</p>
		<p>電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、本体に巻き付けたりしない 火災・感電の原因となります。</p>
		<p>DCプラグ部分をショートさせない 火災・感電の原因となります。</p>
	!	<p>使用中、保管中に発煙、異臭、発熱、変色、変形など、異常を感じたときは、ただちに次の作業をおこなう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体の電源を切る ・ 電源コードを接続しているときは、コンセントから抜く ※ 緊急時に電源コードを抜くことが困難になるような場所への設置はおやめください。 ・ 「保証とアフターサービス」を参照し、点検・修理を依頼する <p>火災・感電の原因となります。</p>
		<p>換気の良い場所に設置する 体調不良の原因となります。 ※ 生成水は次亜塩素酸を含む水のため、塩素臭が発生します。</p>
	<p>吐水中は室内の換気をおこなう 体調不良の原因となります。 ※ 生成水は次亜塩素酸を含む水のため、塩素臭が発生します。</p>	
	<p>使用後は電源を切り、水道の蛇口を閉め、ホース内の圧を抜いた後、給水ホースをはずす 火災・感電・水漏れによる家財損傷の原因となります。</p>	

安全にお使いいただくために

警告

本体（ACアダプター含む）		<p>吐水口の設定と取り付け状態（パイプ、ホース）を確認してから使用する 火災・感電・水漏れによる家財損傷の原因となります。</p>	原液	<p>原液は別の容器に詰め替えない 誤飲・原液劣化の原因となります。</p>
	<p>生成水吐水中、体調に異常を感じた場合は、すぐに使用を中止する 体調不良の原因となります。 ※ 生成水は次亜塩素酸を含む水のため、塩素臭が発生します。</p>	<p>原液は子どもなどの手の届くところに保管しない 事故の原因となります。</p>		
	<p>ACアダプター、電源プラグにほこりがたまらないようにする 火災・感電・発熱の原因となります。</p>	<p> 原液を飲んだり、吸入したりしない 体調不良の原因となります。 誤飲した場合は無理に吐かせようとせず、水で口の中を洗浄し、医師の診察を受けてください。 吸入した場合は、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息してください。 気分が悪いときは、医師の診察を受けてください。</p>		
	<p>電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用する 指定以外の電源を使用すると、火災・感電の原因となります。</p>	<p>原液は本製品以外には使用しない 事故の原因となります。</p>		
	<p>雷が発生した際は、すみやかに使用を中止し、電源コードをコンセントから抜く 火災・感電の原因となります。</p>	<p>容器を密閉して、直射日光や高温環境下を避け、乾冷暗所に保管する 適切な保管をしないと、原液劣化の原因となります。</p>		
	<p>使用しないときは電源コードをコンセントから抜く 火災・感電の原因となります。</p>	<p> 保護手袋を着用するなど、皮膚にふれないようにする 皮膚刺激または発疹の原因となります。 皮膚にふれた場合は、直ちに汚染された衣服を全て脱ぎ、皮膚を流水/シャワーで洗い流してください。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、直ちに医師の診察/手当を受けてください。</p>		
	<p>アースを確実に取り付ける 故障や漏電のときに感電の原因となります。 本製品の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。 アース工事は販売店または、最寄りの電気工事店にご相談ください。</p>	<p>保護眼鏡を着用するなど、目に入らないようにする 目に入った場合は、水で数分間注意深く洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は、はずしてください。眼の刺激が続く場合は、直ちに医師の診察/手当を受けてください。</p>		
	<p>電源コードを抜くときは、プラグ部分をつかむ 火災・感電・故障の原因となります。</p>	<p>衣類、靴などに付着しないようにする 変質・変色、皮膚に達すると炎症・障がいの原因となります。 付着した場合は、大量の水で洗い流してください。</p>		
	<p>ACアダプターは下記の手順で取り扱う</p> <p>取り付け時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DCプラグを本体に接続 2. 電源コードをACアダプターに接続 3. 電源コードをコンセントに接続 <p>取りはずし時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントから取りはずす 2. 電源コードをACアダプターから取りはずす 3. DCプラグを本体から取りはずす <p>火災・感電・故障の原因となります。</p>			

 **警告**

生成水		生成水を飲んだりしない 体調不良の原因となります。 誤飲し体調に異常が発生した場合は、医師の診察を受けてください。 生成水を容器に充填する場合は、子どもなどが誤飲しない容器を使用してください。
		人に向けて噴霧しない 体調不良の原因となります。 アレルギー体質のかたはゴム手袋を着用してください。 皮膚の異常、体の不調を感じたときは、医師の診察を受けてください。 目に入ったときはすぐに水で洗い流して、医師の診察を受けてください。
		他の薬剤、洗剤、酸性の液体と混ぜない 塩素ガスが発生し、事故の原因となります。
		噴霧した水滴は必要に応じて拭き取る 変色、劣化の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意

本体 (A C アダプター 含む)	⊘	<p>装置を消臭除菌水生成以外の目的に使用しないでください 故障の原因となります。</p>	<p>生成水は消臭・除菌の目的以外に使用しないでください 事故・けがの原因となります。</p>		
		<p>不安定な台の上や傾いた場所に置かないでください 落下やけがの原因となります。</p>		<p>⊘</p> <p>生成水を長時間付着したまま放置しないでください 変色・劣化の原因となります。 必要に応じて拭き取ってください。</p>	
		<p>ほこりや湿気の多い場所で使用、保管しないでください 火災・感電の原因となります。</p>			
		<p>梱包用ビニール袋は、子どもの手に触れるところに置かないでください 鼻や口をふさいで窒息したり、けがの原因となります。</p>			<p>!</p> <p>生成水はできるだけ早く使用してください 生成水の性質上、徐々に有効塩素濃度が低下し、消臭除菌性能が落ちてきます。 作り置きする場合は、直射日光や高温環境下で放置せず、乾冷暗所に保管し、できるだけ早くお使いください。</p>
		<p>凍結の恐れのある場所には設置しないでください 故障の原因となります。</p>			
		<p>屋外に設置しないでください 故障の原因となります。</p>			<p>子どもの手の届かない場所に保管してください 事故の原因となります。 誤飲した場合は、すぐに医師の診察を受けてください。</p>
原液	!	<p>吐水用パイプ挿入口に幼児が指を入れないよう注意してください けがの原因となります。</p>			
		<p>子どもや使用方法が分からないかたが操作できない場所に設置してください 火災・感電・家財損傷の原因となります。</p>			
		<p>付属品は子どもの手の届かない場所に保管してください 事故の原因となります。 誤飲した場合は、すぐに医師の診察を受けてください。 付属品のゴム栓には特にご注意ください。</p>			
		<p>原液は使い切ってから、容器を水で洗い流して廃棄してください やむを得ず使い切らずに廃棄する場合は、各自治体のルールに従って処分してください。</p>			

同梱品を確認する

同梱品

<p>本体</p> 	<p>ACアダプター・ACコード</p> 	<p>転倒防止用スタンド</p> 
<p>吐水用パイプ</p> 	<p>原液吸水用チューブ (原液タンク用フタ・ フィルター付き)</p> 	<p>接続口キャップ 2個 ※1 (出荷時は、給水口と ホース吐水口に 取り付け)</p>  <p>ゴム栓 2個 ※1 (出荷時は、吐水用パイ プ差込口と、原液吸水 口に取り付け)</p>  <p>※1 搬送時の水漏れ防止 用に必要なので、 保管してください。</p>
<p>ユーザズマニュアル 保証書</p>		

原液（別売）

本製品をお使いいただくためには、
専用の原液（別売）が必要です。
販売店までお問い合わせください。

名称：業務用消臭除菌水生成用原液
形名：FW-BN20（20L入り）

※ 最新情報は、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.awmi.co.jp/>



各部の名称

本体

■ 背面

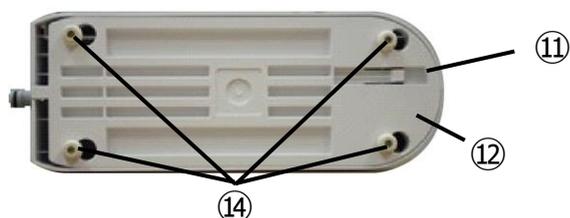
■ 側面

■ 前面



■ 底面

底フタを閉めた状態

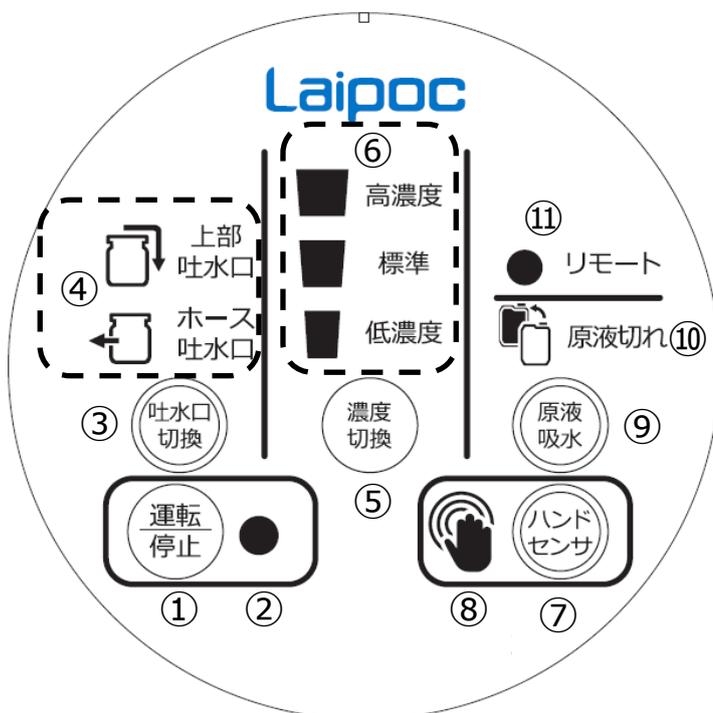


底フタを開けた状態



①	電源スイッチ	⑧	操作パネル (P. 1 1)
②	外部入力端子	⑨	ハンドセンサ
③	ホース吐水口 (吐水ホース接続口)	⑩	転倒防止用スタンド
④	給水口 (給水ホース接続口)	⑪	底フタ開閉レバー
⑤	原液吸水口	⑫	底フタ
⑥	吐水用パイプ差込口	⑬	D C ジャック
⑦	吐水用パイプ	⑭	ゴム足

操作パネル



※ 説明のために、白黒を反転させていますが、実際の操作パネルは、下絵の通りです。



■ 操作ボタン/表示ランプ

(◎は長押し、○は1回押しで動作します)

①	運転/停止ボタン	○	生成水の生成を開始/停止します。
②	運転表示ランプ		生成水吐水中に点灯します。
③	吐水口切換ボタン	◎	生成水の吐水口を『上部』と『ホース』で切り換えます。
④	吐水口表示ランプ		『上部』と『ホース』の選択されている方が点灯します。
⑤	濃度切換ボタン	○	生成水の濃度を切り換えます。
⑥	濃度表示ランプ		選択されているとき濃度が点灯します。
⑦	手動センサボタン	◎	手動センサモードに切り換えます。
⑧	手動センサモード表示ランプ		手動センサを選択しているときに点灯します。 ※ 消灯しているときは、運転/停止ボタンで吐水します。
⑨	原液吸水ボタン	○ ◎	原液を吸水します。 ※ 1回押しと長押しで動作が異なります。 (P.16、20)
⑩	原液切れ表示ランプ		原液切れのときに点滅します。 原液吸水中に点灯します。
⑪	リモートモード表示ランプ		外部入力モードで運転中に点灯します。

※ 操作ボタンと表示ランプについては、P.16以降の「使う」で詳しく説明します。

準備する

接続部品の確認（蛇口、給水用および吐水用）

■ 蛇口との接続部品

お使いになる蛇口に適合する、市販の取り付け部品が必要です。

タイプ名	横水栓型	自在水栓型	万能ホーム水栓型
蛇口の形状例			
ホース取り付けに必要な部品	蛇口とホースの形・内径をご確認のうえ、取り付け可能な、蛇口ニップルなどをお使いください。		

■ 給水口および、ホース吐水口の接続物

本体の給水口とホース吐水口に使用している継手部品は、下記の通りです。

本体に取り付けるコネクターとホースは、お使いになる環境に適合するものをお使いください。

本体継手部品	蛇口継手 ネジ仕様：G1/2
給水口接続物	<ul style="list-style-type: none">● 一般ホース（耐圧ホース※、長さ5m以下推奨） 内径11～15mm、外径16～20mm 推奨 ※ ホースのふくれや破損を防止する耐圧ホースをお使いください。● コネクター 上記ホースと本体継手部品を接合可能なもの。
吐水用接続物	<ul style="list-style-type: none">● 一般ホース 内径11～15mm、外径16～20mm 推奨 ※ ホースの先で水を止めないでください。● コネクター 上記ホースと本体継手部品を接合可能なもの。

※ お使いになる前に、必ず、コネクターと継手の間に緩みがないことをご確認ください。

■ その他

・ 外部接続機器（リモートモード使用時） 当社販売品ではありません。

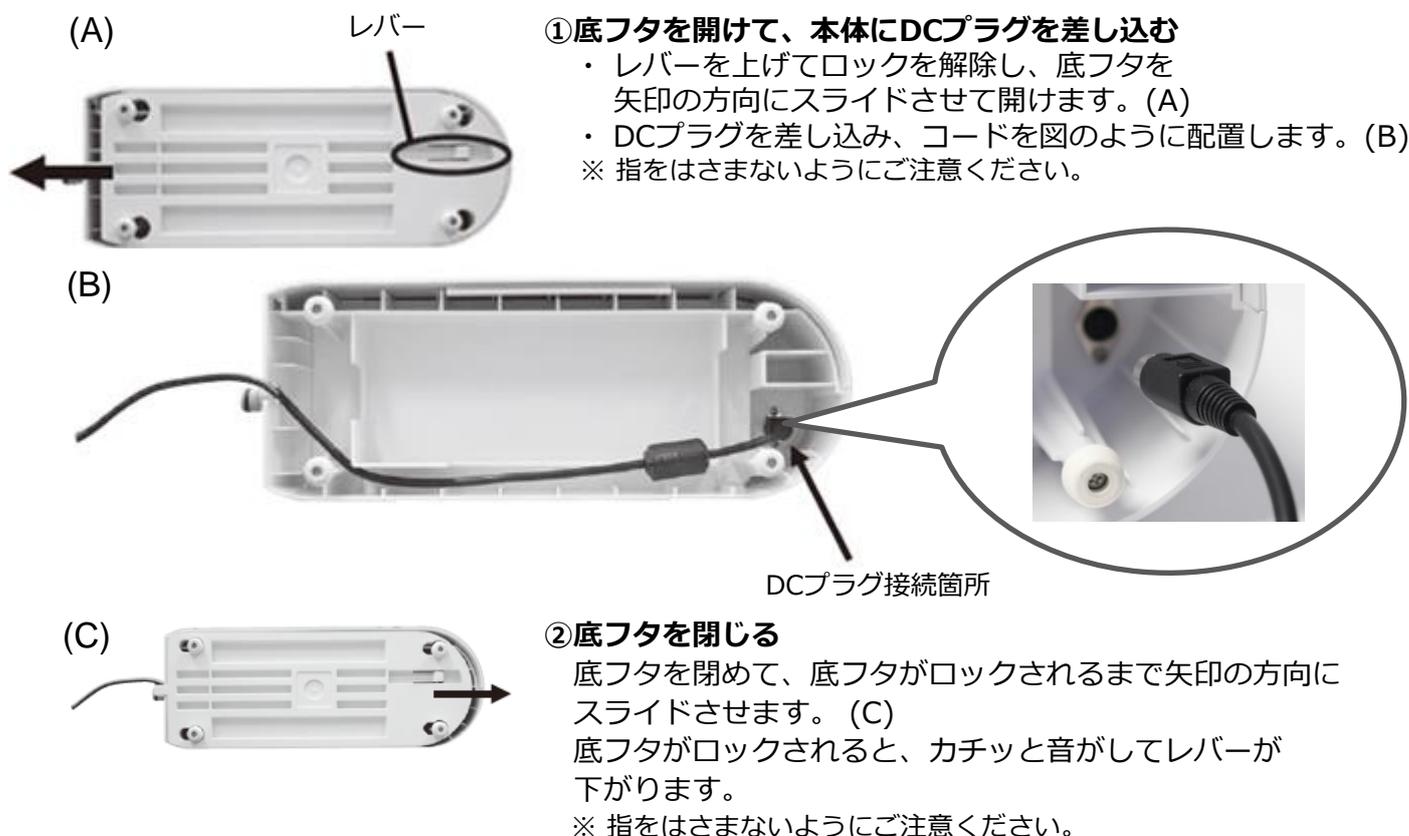
※ 確認済み外部機器については、販売店またはお客様お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

設置場所

- ・製品の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。接地極付きコンセントを使用するか、3ピン変換プラグなどを使用して、アース線を確実に取り付けてください。
- ・人や物などの往来のある場所から離して設置してください。
- ・本製品をシンクに設置する場合は、ハンドセンサによる誤動作を防ぐために、シンクの端面から4 cm以上間隔をあけて設置してください。

同梱器具の取り付け

■ACアダプターの接続



■転倒防止用スタンドの取り付け



- ①スタンドを平らな床に設置する
- ②本体を上からはめ込む

■吐水用パイプの取り付け



- ①吐水用パイプ差込口 (P10 ⑥) のゴム栓をはずす
※ ゴム栓は捨てずに保管しておいてください。
- ②吐水用パイプ差込口に吐水用パイプを差し込み、根元を持って、回らなくなるまで吐水用パイプをねじ込む

ホース、チューブの接続

■ 給水用ホースの接続



①給水口の接続口キャップを取りはずす

※ 取りはずしたキャップは、捨てずに保管しておいてください。

②給水用ホース（市販品）を接続する

ホースにコネクタ（市販品）を取り付け、コネクタを本体の給水口にしっかりと差し込みます。

※ カチッと音がするまで差し込んでください。

※ 毎日の使いはじめには、コネクタと本体給水口の間に緩みがないことをご確認ください。

■ 吐水用ホースの接続（ホースによる吐水をおこなう場合のみ）



①吐水口の接続口キャップを取りはずす

※ 取りはずしたキャップは、捨てずに保管しておいてください。

②吐水用ホース（市販品）を接続する

ホースにコネクタ（市販品）を取り付け、コネクタを本体の吐水口にしっかりと差し込みます。

※ カチッと音がするまで差し込んでください。

※ 毎日の使いはじめには、コネクタと本体吐水口の間に緩みがないことをご確認ください。

■ 原液吸水用チューブの接続

本体原液給水口側



①原液吸水口に取り付けられているゴム栓をはずす

※ 取りはずしたゴム栓は、捨てずに保管しておいてください。

②原液吸水用チューブのコネクタを原液吸水口に合わせて差し込む

③時計回りに回してロックする

※ カチッと音がするまで回してください。

原液側（別売）

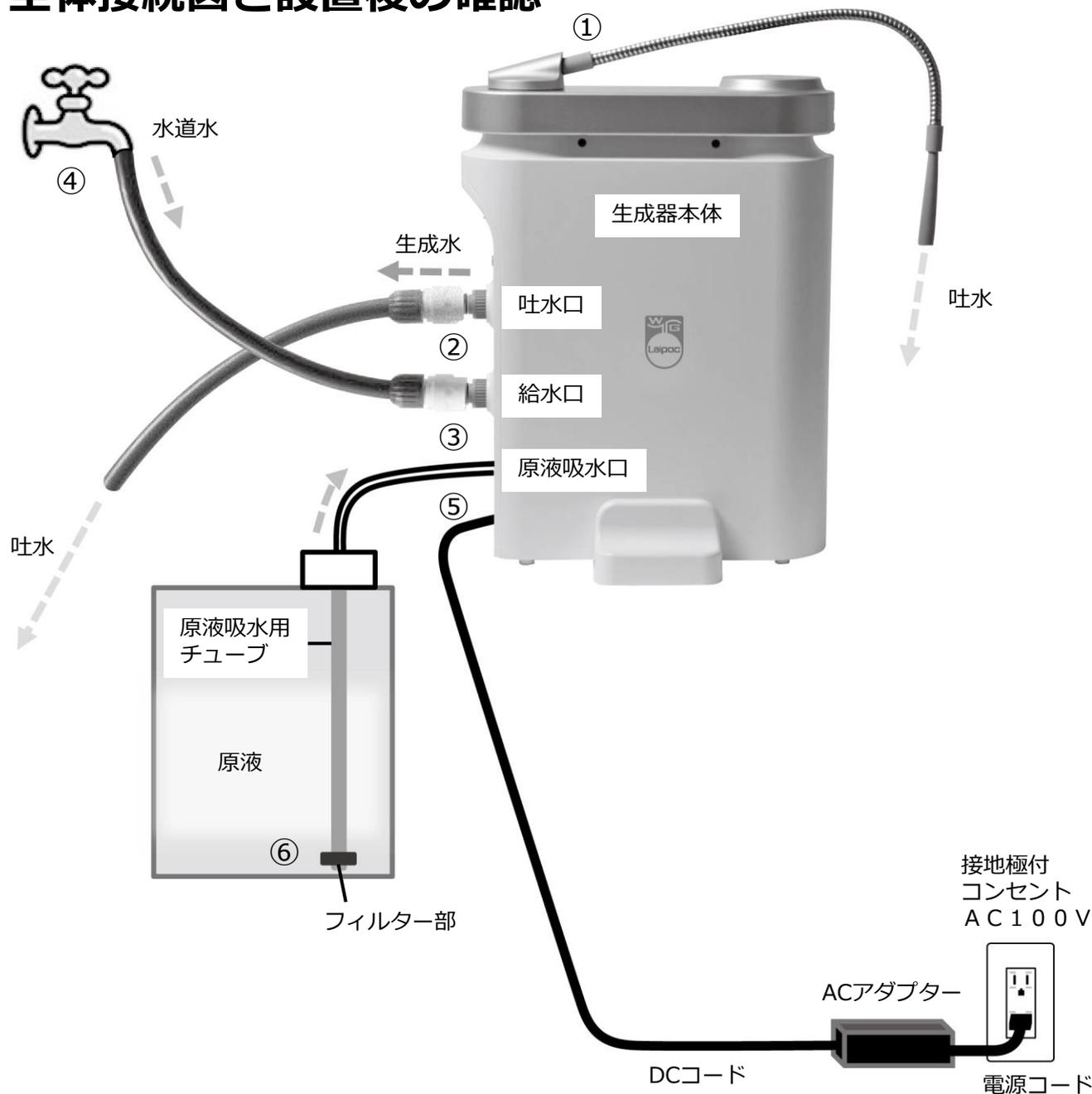


①原液吸水用チューブのフィルター部がタンクの底にとどくように、原液タンクに挿入する

※ 原液にしっかりと浸かっている必要があります。

②原液吸水用チューブに付属のフタで、原液タンクにフタをする

全体接続図と設置後の確認

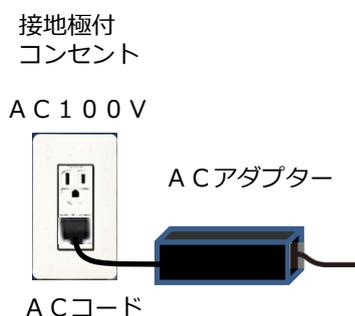


- ①吐水用パイプは、上部吐水口に確実に接続されていますか？
- ②吐水用ホースは、ホース吐水口に確実に接続されていますか？
- ②使用しない吐水口に接続口キャップを付けていますか？
(接続口キャップは吐水を止めるためのものではありません)
- ③給水用ホースは、給水口に確実に接続されていますか？
- ④給水用ホースは、水道蛇口に確実に接続されていますか？
- ⑤原液吸水用チューブは、原液吸水口に確実に接続されていますか？
- ⑥原液吸水用チューブは、原液タンク内の原液に浸っていますか？

給水口、吐水口、原液給水口、吐水用パイプの接続部は、長期のご使用でねじが緩んだりすると、水漏れにより思わぬ被害をまねくことがあります。定期的に点検してください。

使う

通水する（準備運転）



① ACコードをACアダプターに接続し、コンセントに接続する

- ・ AC100Vの接地極付コンセントに接続してください。
- ※ ACアダプターは、水がかかる場所に配置しないでください。
- ※ ACアダプターは、本体内部に入れて動作させないでください。

② 電源スイッチを入れる

- ・ ピピッと鳴るまでお待ちください。

③ 水道の蛇口を開く

- ・ 水圧が高い場合は、蛇口の開きを調整してください。
- ・ 水量不足エラーが出る場合は、蛇口を開けてください。
(エラーの説明は、P.23を参照してください。)
- ※ 製品仕様 (P.24) の使用環境と給水仕様でご使用ください。

④ はじめて使うときや、原液切れがわかっているときは、「原液吸水」をおこなう

- ※ 電源スイッチを入れたとき、原液切れ表示ランプは点灯しません。

原液を吸水する

- ① 原液吸水ボタンを長押しします。
 - ・ 準備が完了するとピーピーと鳴り、原液切れ表示ランプが点滅します。
- ② 吐水口切換ボタンを長押しして、吐水口を選択します。
 - ※ 原液吸水中は、原液に水道水を混ぜた水が吐水されますので、ご注意ください。
 - ※ 吐水した水は、生成水と混ぜないようにしてください。
- ③ 原液吸水ボタンを押して吸水を開始します。
 - ・ 原液の吸水は自動的に完了します。
 - 完了すると、原液切れ表示ランプが消灯します。



⑤ 使いはじめは、生成水が安定するまで、約2分間通水する^{※1}

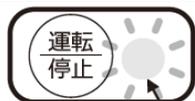
- ※ はじめて使用するときや、7日以上使用しなかったときは、約2分間通水してください。

- ① 吐水口切換ボタンを長押しして、吐水口を選択します。
 - ※ 通水中は吐水されますので、ご注意ください。
- ② 運転/停止ボタンを押して、約2分間通水します。
- ③ 運転/停止ボタンを押して通水を停止します。

※1 生成水が安定するまでの間、給水して吐水することを「通水する」と表記します。

消臭除菌水を生成して吐水する

- ・必要に応じて、「吐水口切換」、「濃度切換」設定を先におこなってください。
- ・お使いになる前に以下のこと確認してください。
 - ・原液吸水用チューブが原液タンクの底まで挿入されていること
 - ・原液吸水用チューブが折れ曲がったり、潰れたりしていないこと



運転表示ランプ

吐水を開始する

- 運転/停止ボタンを押して吐水を開始します。
- ・吐水中は運転表示ランプが点灯します。



吐水を停止する

- 運転/停止ボタンを押して吐水を停止します。
- ・運転表示ランプが消灯します。

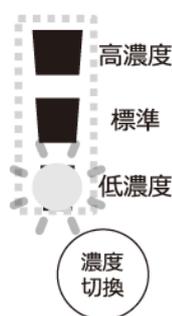
吐水口を切り換える



吐水口切換ボタンを長押しして切り換えます。

- ・上部吐水口、ホース吐水口が交互に切り換わります。
- ※ 切換動作中は、どちらかの吐水口表示ランプが点滅します。点滅中はお使いいただけません。
- ※ ホース吐水口を選択したときは、ハンドセンサはお使いいただけません。
- ※ ボタン操作後すぐ、本製品内部の生成水を吐水することがありますので、ご注意ください。

生成水の濃度を切り換える



濃度切換ボタンを押して切り換えます。

- ・ボタンを押すごとに、低濃度→標準→高濃度→低濃度→・・・の順に切り換わります。
- ※ 濃度によって吐水量が大きく変わります。低濃度を選択したときは、吐水量が多く勢いがあるためご注意ください。
- ※ 電源を入れたときは、前回電源を切ったときに設定されていた濃度が選択されます。

	用途例	吐水量	有効塩素濃度
			FW-BN20
高濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・スプレーして使用する ・より高い除菌力を必要とする場合に使用する 	約 2 L/分	約100mg/L
標準	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的なつけ置き除菌 	約 4 L/分	約50mg/L
低濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ流しで使用する ・つけ置きによる簡単な消臭、除菌 	約 8 L/分	約25mg/L

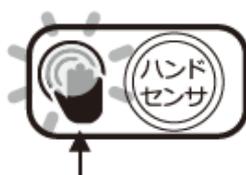
ハンドセンサを使って吐水する



① 上部吐水口を選択する

吐水口切換ボタンを長押しして上部吐水口を選択します。

- ・ ハンドセンサは、上部吐水口選択時のみ使用できます。

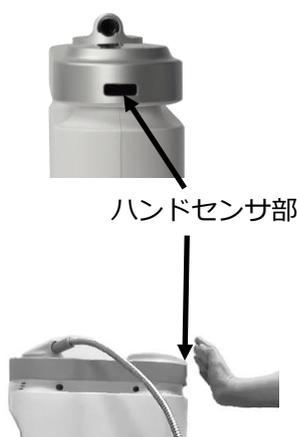


ハンドセンサモード表示ランプ

② ハンドセンサモードに設定する

ハンドセンサボタンを長押しします。

- ・ ハンドセンサモード表示ランプが点灯し、ハンドセンサを使用できます。



③ ハンドセンサで吐水を開始する/停止する

ハンドセンサ部に手を1秒以上かざすと、吐水を開始します。

- ・ ピッと音が鳴って吐水を開始します。
- ・ ハンドセンサ部から4cm以内に手をかざします。
- ・ ハンドセンサ部に直接手をふれると反応しません。
- ・ ハンドセンサモードが設定されているときは、運転/停止ボタンでは吐水を開始できませんが、吐水を停止することができます。
- ・ ハンドセンサで吐水が開始された場合、1分後自動的に吐水を停止します。



ハンドセンサモード
表示ランプ

④ ハンドセンサモードを解除する

ハンドセンサボタンを長押しします。

- ・ ハンドセンサモード表示ランプが消灯し、ハンドセンサが使用できなくなります。

外部機器を使って吐水する

使用できる外部機器については、販売店またはお客様お問い合わせ窓口にお問い合わせください。



①外部機器を接続する

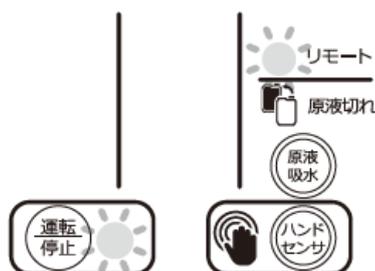
外部入力端子に、使用可能な外部機器の入力端子を接続します。

(注意) 外部入力端子に接続しただけでは、リモートモード表示ランプは点灯しません。

- ・ 外部機器の取り付けかたや操作方法については、外部機器の説明書をご確認ください。
- ・ 外部機器を接続していても、吐水中以外は操作パネルのボタンで操作できます。

②外部機器で吐水を開始する

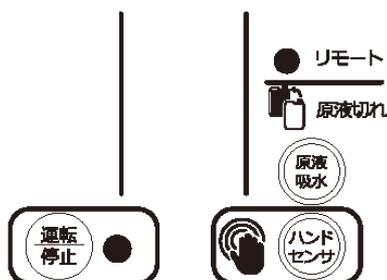
外部機器を操作して吐水を開始します。



- ・ 吐水中、リモートモード表示ランプと運転表示ランプが点灯します。
- ・ 吐水中でも、濃度切換ボタンを操作できます。

③外部機器で吐水を停止する

外部機器を操作して吐水を停止します。



- ・ リモートモード表示ランプと、運転表示ランプが消灯します。

外部機器をはずすときは、外部機器入力端子から、外部機器の入力端子をはずします。

原液を交換する

※ 原液交換時、原液吸水中は、原液に水道水を混ぜた水が吐水されますので、ご注意ください。
また、吐水された水は生成水に混ぜないようにしてください。

■ 原液切れ表示ランプが消灯しているとき



① 原液吸水用チューブを付け替える

空になった原液タンクから吸水用チューブをはずし、新しい原液タンクに吸水用チューブを挿入します。

- ・ 吸水用チューブが原液タンクの底まで挿入されていることを確認してください。
- ・ 吸水用チューブが折れ曲がったり、潰れたりしていないことを確認してください。



② 原液を吸水する

① 原液吸水ボタンを長押しします。

- ・ 準備が完了するとピーピーと鳴り、原液切れ表示ランプが点滅します。

② 吐水口切換ボタンを長押しして吐水口を選択します。

③ 原液吸水ボタンを押して吸水を開始します。

- ・ 原液の吸水は自動的に完了します。
完了すると、原液切れ表示ランプが消灯します。



■ 吐水中に原液が切れ、原液切れ表示ランプが点滅しているとき

① 原液吸水用チューブを付け替える

原液吸水チューブの付け替えかたは、上記「原液切れ表示ランプが消灯しているとき」を参照してください。

② 原液を吸水する

① 吐水口切換ボタンを長押しして吐水口を選択します。

② 原液吸水ボタンを押して吸水を開始します。

- ・ 原液の吸水は自動的に完了します。
完了すると、原液切れ表示ランプが消灯します。



電源を切り、水道の蛇口を閉じる

- ① 水道の蛇口を閉める
- ② 運転/停止ボタンを押して吐水する
- ③ 水量不足エラー (P.23) が発生したら、電源スイッチを切る
- ④ ACコードをコンセントからははずす

よくあるご質問

番号	ご質問	回答
1	お湯を使用できますか？	使用できません。 仕様（P.24）に記載の範囲でお使いください。
2	地下水は使用できますか？	使用できない場合があります。 仕様（P.24）に記載の範囲でお使いください。
3	生成水は保存できますか？	生成水は徐々に有効塩素濃度が低下し、消臭除菌性能も低下していきます。生成後はできる限り早くお使いください。作り置きされる場合は、直射日光や高温環境下に放置せず、乾冷暗所に保管してください。
4	吐水した水は、全て生成水として扱ってよいですか？	原液吸水および、運転開始時の通水作業で吐水される水は使用しないでください。
5	長期間保管後に使用する場合の注意事項はありますか？	古い生成水が本体内部に溜まっている可能性があります。このため、約2分間の通水作業を実施してください。
6	濃度切換後、いくら通水すれば新しい設定濃度の生成水を吐水しますか？	運転表示ランプ点灯後、約1L通水すれば、先に生成した本体内部の水を流し出せます。
7	生成水のpHや有効塩素濃度は、どのようにして測定すればよいですか？	pH3～8の測定可能なpH試験紙や、25～100ppmの測定可能な塩素濃度計で測定してください。関連情報につきましては、当社のホームページを参照してください。 https://www.awmi.co.jp/
8	給水用ホースの太さと長さは？	耐圧ホースを推奨します。 内径：11～15mm、外径：16～20mm 長さ：5m以下
9	5mより長い給水用ホースを使う場合の注意点は？	水量不足エラー（P.23）が発生する可能性があります。その場合は、電源スイッチを入れ直してお使いください。
10	水道の水圧が高いときには、どうすればよいですか？	給水圧力（P.24）の範囲に減圧してお使いください。水道側に減圧弁を取り付けてください。
11	生成水および原液は浄化槽へ排出しても問題ないですか？	生成水および原液は浄化槽内の微生物に影響を及ぼす可能性がありますので、中和するなど定められた処理方法に従って排水してください。
12	使用しない吐水口に接続口キャップをつけて、吐水を止めることができますか？	接続口キャップでは、吐水を止めることはできませんのでご注意ください。
13	接続口キャップやゴム栓は捨ててもよいですか？	故障時や搬送時に水漏れ防止に使用しますので、捨てずに保管してください。
14	停止操作後、ボタン操作を受け付けませんが、エラーですか？	エラーではありません。 停止操作後、2秒間はボタン操作を受け付けません。しばらく待ってから操作してください。
15	ブザーが連続して鳴り続け、ボタン操作を受け付けません。	エラー時の対処方法（P.23）をご確認ください。
16	ブザーが鳴り、複数のランプが点滅します。異常ですか？	エラー時の対処方法（P.23）をご確認ください。

よくあるご質問

	ご質問	回答
17	運転表示ランプが点滅していますが、エラーですか？	エラーではありません。 水量調整時に、運転表示ランプが1秒程度点滅します。
18	継続して吐水していたら、停止しました。不具合でしょうか？	不具合ではありません。 運転/停止ボタンで吐水するときは、30分後に自動的に停止します。ハンドセンサで吐水するときは、1分後に自動的に停止します。 長時間の継続運転は避けてください。
19	給水用ホースをはずす前に、水道水の圧を抜きたいのですが、どうしたらよいですか？	下記の手順を実施してください。 1. 水道の蛇口を閉める。 2. 運転/停止ボタンを押して吐水する。 3. 水量不足エラーが発生する。 4. 給水用ホースの圧が抜ける。 5. 給水用ホースをはずす。
20	本体に残った原液を抜く方法は、どうしたらよいですか？	下記の手順を実施してください。 1. 原液吸水用チューブを原液タンクから抜く。 2. 「原液切れ」になるまで吐水する。 ※ 本体内部の原液は少なくなりますが、ゼロではありません。
21	本体を移動させるときは、何に注意すればよいですか？	本体内部の原液と水道水をできるだけ抜き、下記の手順を実施してください。 1. 原液吸水用チューブを原液タンクから抜く。 2. 「原液の送液エラー」(P.23)になるまで吐水する。 3. 水道の蛇口を閉める。 4. 電源スイッチを入れ直す。 5. 運転/停止ボタンを押す。 6. 「水量不足エラー」(P.23)になるまで吐水する。 7. 給水用ホースをはずす。 ※ 本体内部の原液と水道水は少なくなりますが、ゼロにはなりません。
22	本体の保管環境について、気をつけることはありますか？	保管温度は0～50℃です。 凍結しない場所で保管してください。
23	原液の保管環境について、気をつけることはありますか？	容器を密閉して、直射日光や高温環境下を避け、乾冷暗所で保管してください。
24	原液および原液タンクの廃棄は、どのようにしたらよいですか？	原液の無くなった空容器は、水で洗い流してから廃棄してください。 やむを得ず原液を使い切らずに廃棄する場合は、各自治体のルールに従って処分してください。
25	原液がタンク底に残ってしまいます。どうしたらよいですか？	原液吸水用チューブの留置位置を工夫してください。 残った原液は次のタンクに移し替えてお使いください。
26	テレビやラジオに雑音が入ります。	テレビやラジオを本製品から離してお使いください。

エラー時の対処方法

- ・ブザーとランプの点滅の組み合わせ（下表）が、3回ブザーが鳴ることで、異常をお知らせします。
- ・ブザーと下表のランプ点滅が発生したら、電源スイッチを切って下表の対処方法をお試しいただき、改めて電源スイッチを入れ直してお使いください。
異常が解消されない場合、ただちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。
- ・ブザーが鳴り続け、操作ボタンを受け付けない場合も異常です。再度電源スイッチを入れ直し、同じ状態になる場合は、ただちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

エラー表示と対処方法

異常種別	ランプ表示						対処方法
	上部吐水口	ホース吐水口	高濃度	標準	低濃度	ハンドセンサ	
転倒エラー	①	①	②	②			本体が転倒または、揺れた場合に発生します。 平らな安定した場所に改めて設置いただき電源スイッチを入れ直してください。
水量不足	①	①					給水口へ供給する水量不足か、吐水口がふさがっている場合に発生します。 蛇口がしっかりと開いているか、給水と吐水のホースが折れ曲がっていないか、吐出口がふさがっていないかを確認して、電源スイッチを入れ直してください。 対処後もエラーが発生する場合、水栓自体の圧力または最大流量が不足している可能性があります。
原液の送液エラー	①	①					② 原液の吸水をおこなっても、原液切れが改善しないときに発生します。原液吸水用チューブがしっかりと原液に浸っているか、原液タンクが空になっていないかを確認してください。
電極エラー	①	①			②	②	<ul style="list-style-type: none"> ・原液吸水用チューブがしっかりと原液に浸っているか、折れ曲がっていないか、間違った原液を使用していないか確認してください。原液吸水に問題があった場合は、電源スイッチを入れ直して、原液吸水の作業を複数回実施してください。 ・急激な温度変化や、原液と本体に温度差があるとき、水道水が夏場非常に温められたときに、表示される場合もあります。その場合は、電源スイッチを入れ直して、異常が解消されれば、しばらく待ってから再度運転してみてください。
スイッチ不良	①	①		②	②		操作パネルの上に物が置かれていないか確認してください。
その他	①	①				②	電源スイッチを入れ直してください。 異常が解消されない場合、ただちに使用を中止して販売店にお問い合わせください。
	①	①	②	②		②	
	①	①	②	②	②		

※ 表のランプが交互に点灯します。①→②→①→②→繰り返し点滅

※ 水量不足のときは、①が点滅します。

仕 様

製品仕様

名称/型名	業務用消臭除菌水生成器 / FW-AN08
外形寸法	幅：120 × 奥行：350 × 高さ：483 (mm) ※吐水用パイプと突起部は除く ※吐水用パイプ差込口高さ含む
質量	約 5.5 kg (梱包、取説は除く)
電源	AC 100V 50/60Hz
定格電圧	DC 24V
定格電流	DC 3.5A
消費電力	約110W (ACアダプター含む)
使用環境	温度5℃～35℃、湿度10～85% (屋内、結露無きこと)
保管温度	温度0℃～50℃ (屋内、結露無きこと)

給水仕様

水道接続方式	接続形状 (ワンタッチ)
使用原水	水道水 ※1
使用水温	5℃～35℃ (凍結無きこと)
給水圧力	0.35MPa以下
流量	10L/分以上

生成能力

	参考値 (原水水質、環境温度等に依存します) ※2
	FW-BN20
高濃度	流量：約2L/分 濃度：約100mg/L (標準範囲約80～140mg/L) pH：約7 (標準範囲pH約6～8)
標準	流量：約4L/分 濃度：約50mg/L (標準範囲約40～70mg/L) pH：約7 (標準範囲pH約6～8)
低濃度	流量：約8L/分 濃度：約25mg/L (標準範囲約20～35mg/L) pH：約7 (標準範囲pH約6～8)

※1：「水道法 (昭和32年法律第177号) 第4条第2項の規定にもとづく「水質基準に関する省令」 (平成15年厚生労働省第101号) に適合」を満たす水道水をお使いください。

※2：参考値は、当社規定の試験結果です。水道水のpH、温度などによって、できる生成水は、参考値から外れる場合があります。

本製品は改良のため予告なく仕様変更することがありますので、製品と一部差異が発生する場合があります。ご了承ください。

保証とアフターサービス

製品の保証について

- ・保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- ・保証書は内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
- ・保証期間はお買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも修理が有料になることがあります。保証書をよくお読みください。
- ・製品（本体 FW-AN08）に起因しない不具合につきまして、復旧作業等をご依頼いただく際は、別途作業費を申し受けます。

修理を依頼されるときは

- ・このユーザーズマニュアルをよくお読みください。
- ・異常が改善されない場合は使用をやめ、電源をコンセントから抜いてください。
- ・販売店または、当社のお客様お問い合わせ窓口にて修理をお申し付けください。

保証期間中

- ・修理に際しましては保証書をご提示ください。
- ・保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間外

- ・修理可能であれば、ご希望により有償で修理させていただきます。
- ・当社は消臭除菌水生成器（FW-AN08）の補修用性能部品を、製品の製造を打ち切ってから、基本的に5年間保有します。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・故障箇所によりましては、修理不能となる場合があります。
- ・修理料金は、下の技術料や部品代などで構成されています。
《技術料》 故障した製品を正常に修復するための料金です。
《部品代》 修理に使用した部品代金です。

アフターサービスについて

- ・アフターサービスについての不明な点は、販売店または、当社のお客様お問い合わせ窓口までお問い合わせください。

お客様お問い合わせ窓口について

- ・修理、使いかた、お手入れ、お買い物などのご相談、ご依頼、および、万一、製品による事故が発生した場合は、当社ホームページにお問い合わせください。

ホームページ <https://www.awmi.co.jp/>

お手入れの方法

- ・本製品を拭くときは、柔らかく乾いた布で拭いてください。
- ・本製品に水をかけたり、洗い流したりしないでください。
- ・洗剤、漂白剤、アルコール、クレンザー、ベンジン、シンナー、殺虫剤等は使用しないでください。

生成水の確認（定期的に確認されることを推奨します）

- ・生成水のpH値を確認されることを推奨します。（月に1回程度）
- ・生成水の塩素濃度を確認されることを推奨します。（半年に1回程度）
 - ※ pHや塩素濃度が、仕様生成能力参考値（P.24）から大幅にはずれる場合は、下記の項目をご確認ください。

- 専用原液を使用しているか？
- 何らかの異常やエラーが発生していないか？
- 環境温度や水道水は仕様範囲となっているか？
- 水道水の水質に異常がないか？（pH基準：5.8～8.6）

※ これらの項目をご確認いただいても生成水に異常が見られる場合には、故障または部品寿命の可能性ありますので、販売店までお問い合わせください。

本体・消耗品の廃棄について

使用済みの本体、付属品および、原液タンクの廃棄に関しましては、各地域で定める処理方法に従ってください。

「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
ホームページ <https://www.awmi.co.jp/>

エアウォータメディカル株式会社

東京事業所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目18番19号